

つるおか

# 市議会

令和2年

9月定例会号

●R2.11.1 発行

Vol.64

だより



## 議場を見学したよ!

10月5日、大泉小学校3年生の皆さんが社会科学習の一環で市役所を訪れました。議場では、議員席の座り心地を確かめ、議会の雰囲気を経験しました。

9月定例会の概要	P 2
議案一覧	P 3
ポイント・討論	P 4
特別委員会中間報告	P 5
委員会審査	P 6
総括質問	P 8
一般質問	P 10
視察報告	P 15

# 議会の概要

令和元年度決算を認定  
市議会議員定数条例の一部改正、  
補正予算など30件を審議

9月1日に9月定例会が開会し、市当局が20件の議案（決算議案4件、予算議案5件、条例議案2件、事件議案3件、人事案件6件）を提出しました。請願1件は所管の常任委員会に付託しました。

総括質問、委員会審査などの後、議員提出の意見書5件を含めて審議し、9月24日に閉会しました。（議案・請願・意見書の内容と審議結果は3頁）

## 市当局が議案を提出 5人が総括質問

開会初日は、市当局が20件の議案を提出し、監査委員による決算審査意見書の説明の後、各会派を代表して5人の議員が総括質問を行いました。（質問内容は8～9頁）。

上程された議案のうち、議第76号～89号について、決算議案は決算特別委員会に、予算議案は予算特別委員会に、条例及び事件議案は所管の常任委員会に付託しました。また、議第90号～95号の6件を審議し、議第92号については質疑を行い、表決の結果、全員賛成で同意しました。（人事案件の内容は下段）

最後に、議員定数等検討特別委員長が中間報告を行いました。（報告内容は5頁）

## 市当局に対して 22人が一般質問

3日、4日、7日の3日間、22人の議員が市政全般について一般質問を行いました。（質問内容は10～14頁）

## 決算・予算特別委員会を 開催、提案趣旨を説明

8日に決算特別委員会及び予算特別委員会を開催しました。各委員会において、決算及び予算議案の提案説明が行われた後、各分科会に分割付託しました。

## 各常任委員会を開催

## 決算・予算議案等を審査

9日に総務、10日に市民文教、11日に厚生、14日に産業建設の各常任委員会を開催しました。常任委員会では、付託された

条例及び事件議案の審査を行い、決算特別委員会分科会及び予算特別委員会分科会では、決算及び予算議案の審査を行いました。（審査内容は6～7頁）

また、総務常任委員会では、付託された請願を審査しました。

## 請願1件を不採択 決算・予算の分科会報告

23日の本会議では、意見書提出を求める請願第5号について、総務常任委員長が審査報告を行った後、議員が委員会への再付託を求める動議を提出し、表決の結果、賛成少数で動議を否決しました。引き続き審議を行い、討論の後、表決の結果、賛成少数で請願を不採択としました。（討論内容は4頁）

本会議終了後に開催した決算特別委員会では、各分科委員長が決算議案の審査報告を行い、表決の結果、全員賛成で可決及び認定しました。続いて、委員が議第76号に関する附帯決議案を提出し、表決の結果、賛成多数で可決しました。

## 意見書5件、元年度決算に 関する附帯決議案等を可決

最終日の24日、議員が意見書5件を提出し、表決の結果、議案第7号～10号の4件は全員賛成で、議案第11号は討論の後、賛成多数で可決しました。

次に、決算特別委員長が決算議案の審査報告を行い、議第76号～79号の4件は表決の結果、全員賛成で可決しました。続いて、議員が議案第13号の附帯決議案を提出し、表決の結果、賛成多数で可決しました。（附帯決議の内容は4頁）

次に、予算特別委員長が予算議案、各常任委員長が条例及び事件議案の審査報告を行い、表決の結果、議第80号～89号の10件を全員賛成で承認及び可決しました。

続いて、市当局が議第96号及び97号を追加で提出し、表決の結果、全員賛成で可決しました。次に、議案が議案第12号を提出し、討論の後、表決の結果、賛成多数で可決しました。

最後に、高速交通等対策特別委員長、議会改革特別委員長及び人口減少・地域活性化対策特別委員長が中間報告を行いました。（報告内容は5頁）

## 人事案件の結果

### ◆鶴岡市表彰条例に基づく表彰

黒井 徳夫氏（東荒屋）  
早坂 剛氏（神明町）

### ◆鶴岡市教育委員会委員

齋藤 美緒氏（羽黒町川代）

### ◆鶴岡市農業委員会委員

渡部 長和氏（東岩本）  
佐藤 みほ氏（熊出）  
大池 典子氏（淀川町）

小林 義一氏（黒川）  
五十嵐 覚氏（井岡）  
土岐 善久氏（大広）  
佐藤 康弘氏（新海町）  
石塚 治己氏（三瀬）  
佐久間 豊氏（西荒屋）  
新館 登氏（羽黒町川代）  
坂東 陽水氏（勝福寺）  
荻原 優太氏（大山）  
高橋 好博氏（和名川）  
大沼 恒司氏（長沼）

丸山 成章氏（嵯代）  
工藤 久子氏（藤島）  
阿部 元成氏（面野山）  
金野 匡良氏（羽黒町猪俣新田）  
吉住 喜之氏（白山）  
石井 光明氏（添川）  
魚住 政喜氏（城南町）  
三浦 晃一氏（山五十川）  
山本 節子氏（大塚町）  
本間 厚氏（宝町）

### ◆人権擁護委員候補者

平藤 博巳氏（東荒屋）  
小南 孝子氏（羽黒町上野新田）  
地主 幸平氏（若葉町）

### ◆情報公開・個人情報保護審査会委員

佐藤 宗雲氏（宝田二丁目）  
中村 眞一氏（藤島）  
蛸井由美子氏（東荒屋）  
犬塚 晴夫氏（柳田）  
布袋谷真弓氏（伊勢原町）

### ◆固定資産評価審査委員会委員

魚住 政喜氏（城南町）  
三浦 晃一氏（山五十川）  
山本 節子氏（大塚町）  
本間 厚氏（宝町）

## ▼市長提出議案と審議結果

議案番号	議案名	付託委員会	審議結果
議第76号	令和元年度鶴岡市一般会計及び特別会計歳入歳出決算の認定について	決算特別	} 認定 (全員賛成)
議第77号	令和元年度鶴岡市病院事業会計決算の認定について	決算特別	
議第78号	令和元年度鶴岡市水道事業会計利益の処分及び決算の認定について	決算特別	
議第79号	令和元年度鶴岡市下水道事業会計利益の処分及び決算の認定について	決算特別	} 可決及び認定 (全員賛成)
議第80号	令和2年度鶴岡市一般会計補正予算(専決第2号)の専決処分の承認について	予算特別	
議第81号	令和2年度鶴岡市一般会計補正予算(第6号)	予算特別	}
議第82号	令和2年度鶴岡市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	予算特別	
議第83号	令和2年度鶴岡市介護保険特別会計補正予算(第1号)	予算特別	
議第84号	令和2年度鶴岡市病院事業会計補正予算(第4号)	予算特別	
議第85号	鶴岡市市税条例等の一部改正について	総務	}
議第86号	財産の取得について(消防ポンプ自動車・常備消防車両)	総務	
議第87号	財産の取得について(消防ポンプ自動車・消防団車両)	総務	
議第88号	鶴岡市基金の設置、管理及び処分に関する条例の一部改正について	産業建設	} 可決 (全員賛成)
議第89号	預託金返還請求調停事件に関する調停について	産業建設	
	新型コロナウイルスの緊急経済対策に係る後年度の利子補給等に必要な財源を確保するため、積立基金として緊急経済対策金融支援基金を設置するもの		
議第90号	庄内たがわ農協から令和元年12月に申立てのあった、旧羽黒町農協が旧羽黒町に預託金として納め、同町が寄附金として処理した金員の返還請求について、裁判所から示された調停案により調停を成立させるもの		
議第90号	鶴岡市表彰条例に基づく表彰について	省略	} 同意 (全員賛成)
議第91号	鶴岡市教育委員会委員の任命について	省略	
議第92号	鶴岡市農業委員会委員の任命について	省略	
議第93号	鶴岡市固定資産評価審査委員会委員の選任について	省略	
議第94号	人権擁護委員候補者の推薦について	省略	
議第95号	鶴岡市情報公開・個人情報保護審査会委員の委嘱について	省略	
議第96号	令和2年度鶴岡市一般会計補正予算(第7号)	省略	
議第97号	令和2年度鶴岡市病院事業会計補正予算(第5号)	省略	} 可決 (全員賛成)

## ▼議員提出議案と審議結果

議案番号	議案名	付託委員会	審議結果
議会第7号	新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書の提出について	省略	} 可決 (全員賛成)
議会第8号	ドクターヘリの安定・持続的運用への支援強化を求める意見書の提出について	省略	
議会第9号	防災・減災・国土強靱化対策の継続・拡充を求める意見書の提出について	省略	
議会第10号	新型コロナウイルス感染症拡大の影響に伴う米価対策等に関する意見書の提出について	省略	}
議会第11号	地方自治体のデジタル化の着実な推進を求める意見書の提出について	省略	
議会第12号	鶴岡市議会議員定数条例の一部改正について	省略	} 可決 (賛成多数)
議会第13号	議第76号 令和元年度鶴岡市一般会計及び特別会計歳入歳出決算の認定に関する附帯決議について	省略	

## ▼請願と審議結果

請願番号	請願件名	付託委員会	審議結果
請願第5号	国に対し「消費税率5%以下への引き下げを求める意見書」の提出を求める請願	総務	不採択 (賛成少数)

### 7月臨時会の概要

7月22日に7月臨時会を開催し、新型コロナ対策に係る補正予算議案等3件の審議を行い、全員賛成で可決しました。

議案番号	議案名	付託委員会	審議結果
議第73号	令和2年度鶴岡市一般会計補正予算(第5号)	省略	} 可決 (全員賛成)
議第74号	令和2年度鶴岡市病院事業会計補正予算(第3号)	省略	
議第75号	財産の取得について(タブレット型パソコン 9,407台)	省略	

## 文化振興専門員報酬及び大宝館指定管理業務委託料に係る附帯決議を可決

令和元年度鶴岡市一般会計歳入歳出決算のうち文化振興専門員報酬及び大宝館指定管理業務委託料については、決算特別委員会市民文教分科会での質疑を踏まえ、今年度の予算執行について調査を予定していることから、議会全体で課題共有を図る必要があるとして、議員が附帯決議案を提出し、提案説明の後、賛成多数で可決されました。(分科会での質疑内容は6頁に掲載しています。)

### ■附帯決議の内容

以下3点について速やかな説明を求めるもの

- 1 文化振興専門員設置に関する協議経過と選考過程に関すること。
- 2 文化振興専門員と大宝館の指定管理業務に係る次の事項に関すること。
  - (1) 文化振興専門員の報酬と指定管理業務委託料の算定根拠
  - (2) 文化振興専門員と大宝館の指定管理業務の具体的な業務内容
- 3 教育委員会が文化振興専門員に求めたものと成果・評価に関すること。

# 9月定例会のポイント

## 議員定数を4人削減し28人へ

9月24日の本会議で、議員定数等検討特別委員会が、議員定数を現行の32人から4人削減し28人とする市議会議員定数条例の一部改正の議案を提出し、賛成多数で可決しました。(同委員会の中間報告は5頁) 次期市議会議員選挙(任期満了に伴う選挙は3年10月)から新しい議員定数が適用されます。

### 議員定数の推移

- ・平成17年10月選挙 38人(※)  
(旧鶴岡市23人、旧藤島町4人、旧羽黒町3人、旧櫛引町3人、旧朝日村2人、旧温海町3人)
- ・平成21年10月選挙 34人
- ・平成25年10月選挙 32人
- ・平成29年10月選挙 32人

※法定上限数は34人だが、市町村合併後最初に行われる選挙により選出される議員の任期に相当する期間に限り、特例で38人とするもの。



# 討論

国に対し「消費税率5%以下への引き下げを求める意見書」の提出を求める請願

## 賛成

日本共産党鶴岡市議団  
デフレ脱却のために  
消費税率の引下げを

日本は1990年のバブル崩壊から立ち直りかけ、実質国内総生産(GDP)成長率2.2%を実現していたが、1997年に消費税率5%への増税を強行したため、「デフレ経済」に陥り、現在まで20年以上経済成長は止まったままである。赤字国債発行による国と地方の長期債務残高は、1998年から2019年度末まで、対GDP比で105%から200%へ倍増した。国は消費税増税の過ちに目を閉ざして、デフレ脱却のアベノミクスに失敗し、GDPの2倍を超える借金を積み増した。日本経済を破綻に追い込む、消費税増税の誤りを正すため、本請願に賛成する。

## 賛成

無所属  
命を守る・経済を守る視点から減税の実施を

新型コロナを乗り越えるため  
安定した財源の確保を

少子高齢化の進展に伴い、増大する社会保障費を確保するために必要な財源措置として、昨年10月に消費税率は10%に引き上げられた。その後、新型コロナウイルスの影響で、観光産業、農業などの各分野は、消費の落ち込みなど大変厳しい状況となっている。各自自治体では、子育て・医療・介護など社会保障充実のための各施策に取り組んでおり、その財源として消費税は重要な位置付けになっている。安定した財源の確保・維持なくして施策の実行はできないことから、本請願に反対する。

新型コロナは収束のめどが立たないばかりか、戦後最悪と言われる世界的な大不況をもたらしている。その中で、イギリスやドイツなど20数か国では経済を立て直すために減税が実施されている。不況時に減税措置を講じるのは適切な経済政策であると考えられる。減税をすれば、財政は短期的には悪化する懸念があるが、そこまでして支えなければならぬほど、今の経済が厳しい状況にあると認識すべきであり、本請願に賛成する。

# 特別委員会 中間報告

## 議会改革特別委員会

本委員会は、昨年の中間報告の後、計8回の委員会を開催し、市議会として国等へ意見書を提出する場合の在り方などの議会運営に関する協議と並行して、議会基本条例に関する調査・検討を開始した。

意見書提出については、意見書調整員の調整の結果、全会一致に至らない意見書を本会議に提出する際は、原文のまま提出することを確認した。表題の変更は、変更の必要性かつ緊急性が高いことを意見書調整員が全員一致で認めた場合に限り可能とすることとした。

議会基本条例については、先進地の議会基本条例の特徴、全国の制定状況、現状と課題等を整理し、本市議会における議会基本条例の必要性についても協議した。

本市議会の機能強化と活性化に向け、引き続き検討、協議を進めていく。

## 人口減少・地域活性化対策特別委員会

本委員会は、昨年の中間報告の後、計5回の委員会を開催し、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の策定、移住定住の促進、児童期の子育て支援等について、市当局から説明を受け、意見交換を行ってきた。また、外部から関係者を招き、婚活支援や子ども見守りサポートモデル事業等について懇談会を実施し、直接意見を聴くことで実態や諸課題の把握に努めてきた。

今後も、実効性のある施策等について協議し、本市の人口減少のスピードを少しでも緩め改善できるよう、あらゆる可能性について引き続き調査・検討を行っていく。



## 高速交通等対策特別委員会

9月8日に委員会を開催し、日沿道の進捗状況、庄内空港、羽越本線の状況について市当局から説明を受け、質疑・意見交換を行った。

日沿道は今年度、山形県側には30億円の予算が配分され、鼠ヶ関のトンネル工事が進められるほか、大岩川トンネルが完成予定である。

庄内空港の利用者数は、新型コロナの影響を受け激減し、航空各社は減便、運休を余儀なくされている。今後、国のGoToトラベル等と連動し、早期の需要回復に取り組んでいく。

羽越本線は、昨年3月のダイヤ改正でいなほ全線の乗換えが同一ホーム化となった。今後も、「速達型いなほ」新設やダイヤ改正など、JR東日本に対し、継続して要望していく。

本委員会では、高速交通網の整備促進について、引き続き調査研究を行っていく。

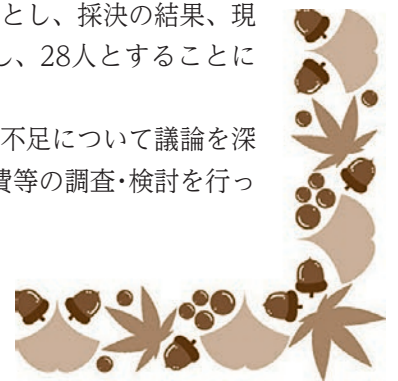
## 議員定数等検討特別委員会

本委員会は、本市にふさわしい議員定数について調査・検討することを目的に、昨年6月に設置され、これまでに13回の委員会を開催した。

その間、市民から意見を募集したほか、市議会モニターとの意見交換会、参考人意見聴取会を開催し、市民の意見を聴きながら、協議を重ねてきた。

去る6月25日の第11回委員会で、議員定数について「現状維持」、「30人」、「28人」とする3案で採決を行うこととし、採決の結果、現行の32人から4人削減し、28人とすることに決定した。

今後は、議員のなり手不足について議論を深め、議員報酬、政務活動費等の調査・検討を行っていく。



# 委員会審査

提出された議案をそれぞれ所管の  
委員会に付託して審査します。

(審査の主なものを掲載します。)

## 決算特別委員会 総務分科会

### 市民税の落ち込みの要因は

**委員** 令和元年度の市税全体の調定額が平成30年度と比較し、約5、400万円の減となっている。特に市民税は、約9、200万円の減となっているが、この要因は。

**課税課長** 市税全体の調定額減の要因として、法人市民税現年課税分の調定額が1億4、141万円、率にして13%の減となったことが挙げられる。これは長引く米中貿易摩擦、中国経済の減速といった海外経済の悪化により、製造業を中心に、生産、輸出が減少し、近年、本市の税収増に寄与してきた法人にも影響があったと分析している。なお、法人市民税を除く市税の税目は増となっている。

### ふるさと寄附金の返礼品の状況は

**委員** ふるさと寄附金事業に関し、返礼品の魅力が寄附者の一番の判断材料になると思うが、返礼品の希望状況は。また、返礼割合が下がったことによる影響は。

**総務課長** 元年度の寄附金に係る返礼品を品目別に見ると、米が約50%、だだちゃ豆とメロンがそれぞれ約10%、続いて酒類といった

状況であり、この傾向は2年度も同様である。また、昨年6月以降、返礼割合が3割以下に制度変更されたが、元年度はインターネットサイトの数を拡大するなど取組により、対前年度比約9、500万円の増となったものである。



食文化創造都市・鶴岡市

本市のふるさと納税  
インターネットサイト

## 決算特別委員会 市民文教分科会

### 文化振興専門員の配置の経緯は

**委員** 配置することとした経緯は。また、いつどのような決定をしたのか。

**社会教育課主幹** 本市を代表する歴史的文化遺産である致道館、大宝館、致道博物館は、近接しているのに、うまく周遊されていない現状があったことから、訪れた方

から本市の歴史文化への理解を深めてもらい、中心市街地の観光振興にもつなげていくため、28年度に関係各課で検討会を一度開催した。その後、社会教育課で検討を進める中で、専門的知識を有する方から助言をもらいながら、問題解決に向かうべきと判断し、配置に至ったものである。

**委員** 最終的に配置を決めたのはいつ頃か。また、専門的な意見を聞く手段としては、コンサルティングもあると思うが、個人とした理由は。

**社会教育課主幹** 元年度予算に計上するため、最終的には、30年9月から検討し、予算要求したものである。また、建物の多くは文化財であり、3館連携の策定には、文化財の保存管理や、建物の背景にある本市の歴史文化に精通していることが求められる。このことから、3館の入館者の傾向や施設への意見・要望を把握し、本市の教育の源泉ともいえるべき藩政時代の歴史的資料を多数所有していることなども総合的に勘案し、致道博物館副館長であり、学芸員資格も有する個人を適任と考え、選定したものである。

**委員** 3館連携の検討は、これまでの指定管理業務の中でもできたのではと考えるが、見解は。

**社会教育課主幹** 現在の指定管理業務の内容は、施設の維持管理に関わることで、展示物の保存管理、新たな展示の発信等であり、他館との連携は含まれていない。また、丙申堂やカトリック教会なども含めて、広い視野で見渡せる方ということもあり、個人を選定したものである。

**委員** 文化振興専門員から報告書の提出に至るまでに、企画書の提出はあったか。報告書はシンプル過ぎると感じるが、どう評価しているか。

**社会教育課主幹** 大宝館の新たな活用の仕方に関する企画書が提出されている。報告書の内容についても、こちらが求めている意見を踏まえたものと認識している。

### 藤島分署の建設場所の経緯は

**委員** 藤島分署移転改築事業について、防災面や効率性を考慮すれば、藤島庁舎の近くに建設すべきと考えるが、現在の分署の敷地内に建設することとした経緯は。

**消防本部総務課長** 当初は、地域防災の連携の観点から藤島庁舎敷地内の駐車場に移転する方向で進めていたが、地元町内会等に説明する中で、現在の分署の敷地は、国道、県道沿いの十字路にあり、消防機能の発揮に一番適している

のではとの評価があったこと、庁舎の駐車場に建設する場合、冬期間は道路に出るまでの除雪が不安だとの声があったこと、また、合築ではなく別棟を建設するため、建設費に大きな差が出ないことなどから再検討し、現分署の敷地内に建設することとしたものである。



改築工事中の藤島分署

## 決算特別委員会 厚生分科会

### 「鶴岡市地域医療を考える市民委員会」の今後の進め方は

**委員** 鶴岡市地域医療を考える市民委員会の委員構成は。また、今後どのように進めるのか。

**地域包括ケア推進室長** 子育て世代、患者会、市民団体、ボランティア団体、看護師、ケアマネジャー等の委員で構成されている。委

員会では、「市民とともに作り上げる地域医療」及び「在宅医療と介護連携の強化」をテーマに掲げている。今後は、市民一人ひとりが本市の地域医療を守るために何ができるのかを、市民アクションプランとしてまとめる予定である。

### 福祉分野の担い手不足への対応は

**委員** 市社会福祉協議会運営費等補助事業に関し、高齢化が進み、各地域では社会福祉協議会の担い手が不足していると認識している。高齢化による担い手不足が福祉分野全般に及んでいる現状を踏まえ、福祉事業全体を見直し、再構築する必要があると思うが、見解は。

**健康福祉部長** 高齢化による担い手不足から、一部の地区では学区社会福祉協議会と自治会が合併する動きもある。福祉事業全体の見直しの検討は、地域の声を聞きながら、関係部署と連携して進めていきたい。

### 民生児童委員の充足率は

**委員** 民生児童委員は、担い手不足が全国的な課題となっており、各町内会でも選出に苦慮しているが、どのような対応をしているか。また、充足率ほどの程度か。

**福祉課長** 現在定員351人に対し欠員8人であり、充足率は97・

8%である。欠員は住民の不利益につながるため、市からも直接依頼に伺うなど、様々な働き掛けを行い、欠員解消に努めている。

## 予算特別委員会 産業建設分科会

### 経営が厳しい日帰り温泉施設の今後の在り方は

**委員** 日帰り温泉施設管理運営事業に関し、行財政改革推進委員会では、露天風呂を作って活性化を図るという声もあると聞いている。今後の温泉施設の在り方として、住民福祉のための温泉という視点で考えるべきと思うが、見解は。

**商工観光部長** 運営に関しては、これまで人件費や管理経費の削減、入浴客増加のための企業回り、長沼温泉ぼっぼの湯、やまぶし温泉ゆぽか、くしびき温泉ゆ〜TOWNの3施設が協力してのイベント開催など、経営努力を積み重ねてきたが、このコロナ禍において、更に経営が悪化した経過がある。また、検討に当たっては、単に行財政改革推進委員会に委ね全てを決定するのではなく、庁内横断的な検討会議を9月に立ち上げ、一定の素案を出すこととしている。

**委員** 類似の温泉施設が同じエリ

アで存続するのは難しいのではないかと。経営困難であれば、廃止も選択肢に入れて、次の段階に進むことも大事だと考えるが、見解は。

**商工観光部長** 現状では、雇用を守るという側面もあり経営継続の方向で検討しており、廃止は考えていない。まずは継続に向けてどのような手法があるか、検討していきたい。

**委員** 今年度は庁内検討会議を立ち上げて素案を検討し、行財政改革推進委員会でも検討する、3年度は方向性を見いだしながら、まずは現状を継続し、実際の運営の変更は4年度に行うとのことだが、それで改革と言えるか。変更後の方針を速やかに打ち出し、3年度から実施していく必要があると考えるが、見解は。

**商工観光部長** 運営責任は各運営会社にあると理解しているが、各々の設立経過等があるため、市として必要な支援はしていかなければならないと考えている。スピード感を持って改革することが求められており、3年度に新体制に移行することも念頭に入れ検討すべきだが、市だけでは進められない部分や調整を要する部分もある。できるだけ早いタイミングで進めていきたいが、理解願いたい。

# 総括質問

市長提出議案に対して、  
会派を代表して質問します。  
各議員1項目について概要をお知らせします。

## YouTube 「鶴岡市議会チャンネル」

本会議のライブ・録画配信を行っています。



YouTube 鶴岡市議会



質問は市議会ホームページ等で公開している録画中継や会議録で全てご覧いただけます。

原稿は質問した議員本人の責任において執筆しています。

※会議録の公開には一定の期間を要します。

## 令和元年度決算と将来を見据えた財政運営は

新政クラブ 佐藤 昌哉 議員



**議員** 一般会計の歳入歳出決算に係る収入未済額、不用額(※)の評価、決算剰余金の活用は。

**市長** 収入未済額は前年度より約14億円減少しているが、市税や使用料などの未済額は市民負担の公平性の観点から解消に努める。不用額は約13億円増加したが、多額の不用額が生じないよう予算編成時に一層の事業費の精査に努める。決算剰余金は2分の1を下回らない金額を積み立て、又は市債の繰上償還のための基金積立金と公債費に充てる必要があり、残りは令和2年度への繰越金となっている。

**議員** 将来の課題を見据えた財政運営の方針は。

**市長** 事務事業の見直しや新しい生活様式に即した行政サービスの改善を徹底する。施設やインフラ整備は、有利な財源獲得に注力しつつ、住民生活を支えるものを優先に、将来の維持管理や財政負担に一層配慮する。

ほかの質問

行財政改革

※収入未済額…当該年度の歳入として調定した収入のうち、出納整理期間までに納入されなかった額。  
不用額…歳出予算の経費の金額のうち、結果として使用する必要がなくなった額で、当該年度の歳出予算現額から支出済出額及び翌年度への繰越額を控除した残額。

## 斎小学校体育館改築における責任の所在は

新政クラブ 本間 正芳 議員



**議員** 斎小学校の体育館改築事業について、市は当時の工事施工業者の施工不良と責めるような言い方をしているが、市長も責任の所在は当時の工事施工業者にあったとの認識か。

**市長** 昭和38年の建設以来、耐震診断も実施したが、内部の全体状況は今回の改修工事でも初めて確認できたものである。経年劣化を考慮したとしても、施工不良と言わざるを得ない状況が判明したと報告を受けている。建設当時は、現場練りのコンクリートが使用され、人の手に頼っていた時代であり、建設業界の品質管理体制が現在のような体制ではなかったことも原因の一つと捉えている。また、当時の工事施工業者は廃業しており現存していない状況で、民事上、施工不良の責任追及は、建物引渡し後最大20年で時効であることから、法的にも責任を求めることはできないものである。

ほかの質問

新型コロナ、人口減少、  
少子高齢化対策、  
病院決算



## 市長選公約の達成状況は

日本共産党鶴岡市議団 長谷川 剛 議員



**議員** 市長は市長選公約で「市発注事務・事業について、分割発注の徹底等による地元企業・商店街等の受注機会の拡大」と「公

契約条例の制定による民間企業・団体と締結する契約における賃金の底上げ、適正な競争による地域経済の活性化」を掲げたが、条例制定に向けての検討状況と建設工事に関わる地元企業への発注状況は。

**市長** 条例制定を目指す方向で考えているが、条例化によって受注者の負担となることがないように配慮するとともに、小規模事業者の振興といった課題にも対応できるように検討していきたい。入札案件となる130万円以上の建設工事における市内業者への発注件数の割合は、平成29年度は97・3%、30年度は98・5%、令和元年度は99・5%と、市内業者を優先した発注に努めている。

### ほかの質問

災害対策、  
新型コロナウイルスによる経済  
への影響と課題

## 上下水道事業 今後の見通しは

市民クラブ 加賀山 茂 議員



**議員** 上下水道事業に関して人口減少の影響が更に懸念されるが、抜本的な対策の検討は。また、

業務に精通し、管理する職員の削減が顕著に推移している。水は生命の源であり、採算を重視する余りに安全性が損なわれてはならないと考えるが、今後の経営に当たっての考えは。

**市長** 安全安心な水道水の安定供給、公共用水域の環境保全と生活環境の改善を目的とし、独自採算制を基本に運営しているため、人口減少に伴う事業収益の減少は事業の運営に大きく影響すると認識している。対策としては、サービスを低下させずにいかに経営効率を上げるかが重要と考えており、経営効率化計画を策定し、施設整備費用の削減、職員負担の軽減等、効果的な取組を行っている。今後は、人材の確保と職員適正配置を進め、組織体制の強化、健全経営を図っていく。

### ほかの質問

災害・新型コロナウイルス対策、  
ごみ焼却施設整備事業  
ほか

## 質の高い医療提供体制整備をどう考えるか

鶴岡市議会公明党 秋葉 雄 議員



**議員** 本市を含む南庄内の医療提供体制は、医師不足や医師の高齢化等でクリニックの閉鎖や診療

廃止が相次ぎ、深刻な状況にある。本市においては、荘内病院を基幹病院として地区医師会が全面協力する体制が整備され、盤石だと思われてきたが、行政としても看過できない課題であり、早急に対策を講じなければならぬ事態に直面している。行政のトップとして市長がリーダーシップを発揮して解決策を提示すべきではないか。

**市長** 南庄内には、病院が7か所、診療所が88か所あり、地域の基幹病院である荘内病院を中心に医療を提供している。課題は医師不足、医師の高齢化であり、荘内病院の医師数は、同規模の病院と比べ約20人少なく、鶴岡地区医師会の診療所医師の平均年齢は63歳である。市としても、地区医師会等と連携を強化し、対応していきたい。

### ほかの質問

財政構造の健全化、  
雇用維持対策

ウィズ  
withコロナ時代に  
対応した観光振興は

菅原 一 浩 議員



**議員** 新型コロナの影響は一過性ではないと考えるが、6月に旅行業としての業務を開始したDEGAM鶴岡の現状と今後の活動方針は。

**商工観光部長** 団体客の減少による観光事業者への影響が大きいことから、今後、一定の需要が見込まれる教育旅行の誘致、企業向け研修など、新たな需要の掘り起こしが重要と考える。ご指摘のとおり、新型コロナの影響は長期間にわたると予想している。DEGAMでは、事業の方向性、内容について会員等と話し合いを行っており、次年度の事業・予算計画と併せ、今後の方針を取りまとめることとしている。

ほかの質問  
新型コロナ対策

# 一般質問

市政全般について考え方や方針などを  
市当局に質問します。  
各議員1項目について概要をお知らせします。

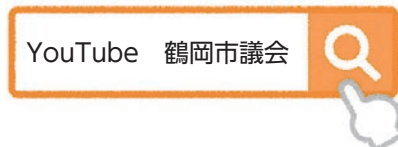
質問は市議会ホームページ等で公開している  
議会中継や会議録で全てご覧いただけます。  
原稿は質問した議員本人の責任において執筆  
しています。

※会議録の公開には一定の期間を要します。  
※総括質問を行った議員を除く19人の質問を掲載します。

## YouTube 「鶴岡市議会チャンネル」



本会議の録画配信を行っています。



## PCR検査センターの 設置を

加藤 鑛 一 議員



**議員** 荘内病院のPCR検査機器導入の現状は。

**病院事務部長** 検査機器の需要がひっ迫し、納入時期は9月末頃になる見通しである。

**議員** 行政検査の拡充が図られた場合に、検査体制も十分に拡充されるのか。

**病院事務部長** 院内感染防止のため、病院とは別個に専用の検査体制を設けることが望ましい。感染拡大期に備え、市全体で検討を進めている。

**議員** 「鶴岡市PCR検査センター」設置を検討できないか。

**市長** 保健所、医師会、市健康福祉部が連携し、唾液による検査も導入し対応していきたい。

ほかの質問  
(仮称)山形県鶴岡市風力発電事業に係る計画

## 冬期間の感染症流行期の 荘内病院の対応は

小野寺 佳 克 議員



**議員** これから冬期間の感染症拡大が危惧され、新型コロナと季節性インフルエンザの同時流行も懸念される。今後の検査体制、医療体制は。

**病院事業管理者** 検査体制については、PCR検査など感染症疑い患者の検査を行えるように遺伝子検査室を新たに整備し、検査機器を追加購入していく。医療体制については、感染症対策本部で同時流行を想定した対策を検討している。発熱などを伴って救急センターを受診する際には、事前に電話連絡をもらい、感染症の疑いがある場合は、東口を通らずに発熱外来に直接来てもらって診察や検査を行う予定である。

ほかの質問  
なし

## 子どもの安全・安心 地域との絆のために



田中 宏 議員

**議員** 7月28日豪雨時の学校から学童保育所等への児童の引渡しについて、実態と課題は。

**教育長** 一斉下校を行った各校で、教職員が学童保育所まで付き添ったり、危険箇所に見届けたりしたほか、学童保育所職員が学校まで迎えに来たケースもあった。今後、災害時の連携のルールを明確化していきたい。

**議員** 統廃合により小学校が閉校した地区で、子どもと地域の絆を育むために放課後子ども教室を実施している事例はあるか。

**教育長** 鶴岡地域の田川地区と由良地区で実施しており、藤島地域長沼地区でも検討中である。

### ほかの質問

健康なまちづくりとコミュニティ、  
関係人口の増加、デジタルガバメント

## 避難所の課題 住民の声を聞き解決へ



石井 清則 議員

**議員** 広瀬地区自治振興会では、避難所の状況や課題を時系列にまとめ、市に提出したと聞いている。ほかの避難所での課題等の把握は。

**危機管理監** 担当課や地域庁舎でアンケートやヒアリング、意見交換などを行い、広瀬地区からの意見も含め、課題等を整理している。

**議員** 課題や反省点に対する今後の対応は。

**危機管理監** 受付の混雑や食事提供の遅れ、雑魚寝などによる密状態が生じたとも聞いている。対応として食料備蓄品の配備や段ボールベッド等の手配、密対策として分散避難の具体的な整理を急ぎ、一つ一つ課題を解決していきたい。

### ほかの質問

出羽三山周辺の風力発電事業、  
温泉施設

## 豪雨災害により 見えてきた課題は



黒井 浩之 議員

**議員** 2年前は河川の水位が低い時点で避難準備情報が発令されたが、7月28日豪雨では、氾濫危険水位を超えた2時間後でも発令がなかった。これでは市民に混乱を招くのではないか。

**藤島庁舎支所長** 予測を上回る水位の急上昇により、警戒レベルの高い避難勧告を発令したが、過去のデータ等を活用し改めて点検していく。

**議員** 避難所では水位や被害の情報が全く入ってこなかった。情報提供にSNSの活用やタブレット・パソコンの配備を検討しては。

**危機管理監** SNS等を活用した情報提供を議論しており、できることから取り組んでいく。

### ほかの質問

地方創生臨時交付金

## ダムによる治水能力の 強化を



富樫 正毅 議員

**議員** 5月に赤川水系治水協定が締結され、ダムの事前放流が一定の条件で可能になった。市民の生命、財産を守ることは市の責務であり、ダム放流や河川管理は重要と考えるが、見解は。

**危機管理監** 7月28日豪雨時に事前放流は行われなかったが、今後は下流河川の被害低減に向けた防災操作となるよう国等に要望していく。

**市長** ダムの治水能力を市が把握することは大変重要である。今回の豪雨において、月山ダムの貯水能力はかなりの余裕があったと聞いている。国・県と更に連携し、ダムを生かして住民の命を守る取組をより強化していく。

### ほかの質問

地方創生と連携した少子化対策の推進

## ごみ減量等、目標との乖離をどうするのか

菅井 巖 議員



**議員** 昨年度の本市のごみ排出量は4万4,086tで、市民1人1日当たり966g、リサイクル率は11.8%であり、全国平均や市の環境基本計画目標とも乖離があるが課題と対処は。

**市民部長** 市広報等での情報発信、ごみ分別講習会等での減量・適正分別の啓発を重点的に取り組んだが、十分ではなかったことが大きな原因である。3R（※）の推進のうち、特に食品ロス削減等による排出抑制や資源回収の品目・方法等の見直しも課題と捉え、次期環境基本計画策定と連携し一般廃棄物処理基本計画の見直しを進め、より効果的な施策推進に努める。

ほかの質問

豪雨災害対策、  
市営住宅の連帯保証人制度の見直し

## 一般廃棄物処理施設整備事業の進捗状況は

五十嵐 一彦 議員



**議員** ごみ焼却施設整備・運営事業及び大荒地内の一般廃棄物最終処分場建設工事の進捗状況は。

**市民部長** 7月末現在、ごみ焼却施設の工事進捗率は69.1%となっており、11月には受電・焼却プラント等機器の試運転を開始し、今年度中に工事完了する計画である。

また、大荒地内の一般廃棄物最終処分場の工事進捗率は41%となっており、9月下旬に埋立地の貯留構造物、遮水シートの設置工事を開始する予定であり、令和3年9月の工事完了に向け、着実な工事の進捗に努めていく。

ほかの質問

企業版ふるさと納税制度

## 日本遺産を生かした観光振興・地域振興を

尾形 昌彦 議員



**議員** 本市の3つの日本遺産へのハード事業の支出累計額はどのような金額になっているか。

**商工観光部長** 出羽三山に約5,200万円、サムライシルクに約2億2,000万円、北前船寄港地集落に約21万円を支出している。

**議員** 観光振興のための案内看板の設置や北前船寄港地としての歴史を紹介するDVDの作成などは行政主導で行うべきと考えるが、見解は。

**商工観光部長** ハード面は行政が積極的に関わりながら整備することを検討していく。地域の方からはボランティアガイド等ソフト面で協力してもらい、地域振興にもつなげていきたい。

ほかの質問

災害の際の連絡体制と地区防災計画

## 特定地域づくり事業協同組合制度の活用を

石塚 慶 議員



**議員** 6月に新設された本制度の概要は。

**企画部長** 人口急減地域で組合が地域内の仕事を組み合わせて労働者派遣事業等を行う場合、運営費の2分の1を上限に財政支援を受けられる制度である。

**議員** 地域活性化の起爆剤になると考えるが、活用への課題と取組支援の方向性は。

**企画部長** 基準資産額（1,000万円×事業者数）の確保、通年の仕事があるか等の課題があるが、地域活性化につながる制度と認識している。地域や事業者への制度周知に努めつつ、情報収集し、調査・検討していきたい。

ほかの質問

コロナ禍における観光振興

※ 3R…Reduce（廃棄物の発生抑制）、Reuse（再使用）、Recycle（再資源化）の3つのRの総称。

## 風力発電 地域住民の理解を

本 間 信 一 議員



**議員** 事業者が羽黒山と月山の麓の2か所を大型風車設置場所に選定した理由は。

**市民部長** 風況条件、社会インフラ整備状況、法令等の制約の有無、環境保全上留意が必要な施設や住宅への配慮に加え、県の適地調査の結果も検討し、選定したと聞いている。

**議員** 適地調査で選定された候補地に挙がっている中、県知事が異論を唱えたことは理解に苦しむ。市長の考えを問う声もあるが、見解は。

**市長** 事業内容、特に設置場所、地元との合意形成など進め方に問題があり、事業者から事業の取下げをしてほしいと考えている。

ほかの質問

コロナ禍における移住、  
松ヶ岡開墾150年記念事業

## 斎小学校体育館改築工事 地元の要望の反映は

阿 部 寛 議員



**議員** 斎小新体育館改築に当たり、地元の要望をどのように設計に組み入れていくのか。

**教育部長** 地元からの要望事項は、水害時における避難所としての浸水対策や子供の居場所確保のための学童保育所としての活用など多岐にわたっている。今回の改築では、安全確保を第一に、水害時の浸水为了避免するため床面の高さを確保する設計を考えている。更には、避難所としての機能を拡充するため、男女別や多目的トイレの新設など要望に沿った形で対応していきたい。学童保育所としての校舎施設の有効活用についても、検討中である。

ほかの質問

鳥獣害防止対策の強化

## 学校給食費の無償化の 拡大を

坂 本 昌 栄 議員



**議員** 義務教育は無償と思われがちだが、保護者の私費負担が多い現状にある。新型コロナの影響もあり、他市では、学校給食費の無償化が進んでいる。子育て世代の負担軽減は喫緊の課題と考えるが、財源確保と実現への検討は。

**教育部長** 給食費は1人年間5万円から6万円程度であり、無償化の対象者拡大に目を向けてはいるが、財源確保が課題となっている。全国的にも動きのある事業であり、情報収集をしながら、子育て世代の支援策として充実した制度となるよう、財源確保のために必要な方策を引き続き検討していく。

ほかの質問

学校給食センター改築への課題、  
学童保育所の施設や運営主体

## 酒井家庄内入部400年 記念事業の取組状況は

渋谷 耕 一 議員



**議員** 酒井家庄内入部400年の節目の事業は、市民協働・官民連携と市民の一体感の醸成となり、交流人口拡大・人づくりへの期待も大きいですが、市民への事業目的の周知など意識啓蒙を図る策は。また、総事業費と酒井家の負担割合は。

**企画部長** 事業目的は郷土への愛着と誇りを高め交流人口拡大を図ることであり、庄内藩という視点で庄内の各自治体と連携するほか、専門家の協力で効果的に情報を発信し、魅力的なイベントの企画に取り組んでいく。現時点で総事業費の詳細は未定であるが、酒井家から負担金を頂いて行う性質の事業ではないと考えている。

ほかの質問

本市の住みよさランキングの認識とその対応施策

## 日帰り温泉施設存続への 解決策は



小野由夫議員

**議員** 本市で管理運営を委託している3つの日帰り温泉施設のうち、長沼温泉ぼっぼの湯とくしびき温泉ゆ〜Townは営利企業として存続困難な状況にある。施設存続の解決策は。

**商工観光部長** 今後の運営の在り方について、行財政改革推進委員会の意見を聴きながら、また、地元住民へ丁寧な説明をしながら、解決に向けた素案を検討し、提示したい。

**副市長** 地元住民の思い入れもあり、利用料金制で努力してきた。しかしながら、運営の見直しは致し方ない状況であり、素案を早急にまとめスケジュール感を持って検討していく。

### ほかの質問

豪雨による氾濫被害対策及び河川改修、駅前及び宝田周辺工業団地の雨水対策

## 地方行政のデジタル化の 検討状況は



山田守議員

**議員** 第32次地方制度調査会の答申では、地方行政のデジタル化について国主導による自治体業務の標準化、見直し等が提起されている。本市のデジタルガバメント（※）の検討状況は。

**企画部長** 行財政改革推進委員会等の意見を参考にスケジュールを作成し、段階的に進めていきたい。実現には、デジタル化の障壁となっている署名、押印の原則等、制度や習慣にまで踏み込む業務改革が必要となる。また、前提としてデータ漏えい、目的外利用などセキュリティ確保や個人情報保護の徹底に加え、高齢者に対する情報格差対策も進める必要がある。

### ほかの質問

ICT（情報通信技術）教育の在り方

## 荘内病院の経営 今後の見通しは



草島進一議員

**議員** 決算書によると、累積欠損金が約129億円と増加しており、赤字体質ではないか。地域医療構想を踏まえた令和3年度以降の見通しは。

**病院事務部長** 実質的収支は平成25年度から5年間は赤字決算だが、30年度は約7,200万円、昨年度は約3,800万円の黒字である。今年度はコロナ禍の影響で中期経営計画での目標にしていた経常収支黒字化は大変厳しいと捉えている。

**病院事業管理者** 地域医療構想では適切な病床数を令和7年までに達成することとされているが、コロナ禍を踏まえると、全体としての病床数をどうするかはもう少し検討する必要がある。

### ほかの質問

（仮称）山形県鶴岡市風力発電事業

## 本市の再生可能 エネルギービジョンは



中沢洋議員

**議員** 本市は東北一の面積を有し、豊富で多様な自然環境に恵まれているが、今後の再生可能エネルギービジョンについて見解は。

**企画部長** 本市が誇る自然や歴史、文化を踏まえ、地域に根ざした再生可能エネルギーの導入等を積極的に推進し、自然環境と調和した魅力あふれる安全安心な生活環境の形成と地域活力の創出を実現していく。

**市長** 7月に国から「SDGs未来都市」に認定されたことから、環境と調和した再生可能エネルギーへの移行とエネルギー自給率の増加を図り、持続可能な社会の構築に努めていく。

### ほかの質問

なし

※デジタルガバメント…デジタル技術の徹底活用と官民協働を軸として、行政サービスを見直すことにより、行政の在り方を変革していくこと。

# 視察報告

常任委員会で市内施設等を視察しました。

## 産業建設

常任委員会



7月27日 視察先：山形県栽培漁業センター、八森山風力発電建設地、あつみ観光協会、東北イー トップ株式会社

### 水産資源の安定供給と付加価値向上を目指す

三瀬地区の県立栽培漁業センターでは漁業資源として必要な魚類等の種苗生産、供給を行っている。季節により種類は異なるが、視察時はアワビ、ヒラメ、アユ等が生産されていた。

漁業者の新たな取組として天然ヒラメの畜養も同センターの施設を使用し実施されている。定置網でとれたヒラメを水槽で畜養し、水揚げ量が落ちる時期に出荷することで安定供給や単価低下の課題を解

決する。天然アジを生き餌とし、自然環境を再現。市場の評価も上々でほかの魚種への広がりも期待され、今後本市の水産資源の安定供給と付加価値向上につながると考えられる。



## 市民文教

常任委員会



7月29日 視察先：朝暘第四小学校、櫛引中学校

### 小学校289教室・中学校129教室冷房設備完成

年々暑さが厳しくなる中で、子供たちの熱中症を防ぐため、昨年5月から今年3月まで普通教室のエアコン設置工事が行われた。

市民文教常任委員会では、小・中学校のエアコン設置状況を視察し、児童・生徒がエアコンの下で快適に学習している様子を確認することができた。また、学校における新型コロナ対策についても視察し、足型マークを使った一定の距離の確保、手洗いマニ

ユアルの掲示、換気とエアコンの使い方の工夫などが印象に残った。

今後は、日当たりの良い特別教室の暑さ対策や、避難所として利用される体育館の暑さ・寒さ対策が課題であることを確認した。



## 厚生

常任委員会



8月18日 視察先：南部保育園

### コロナ禍の保育実態と新たな保育事業の展開

今年4月に開設した南部保育園に、コロナ禍の中、短い時間での視察をお願いした。通常の保育活動のほか、特別保育事業として「病児保育事業」「一時預かり事業」「発達支援室」等も視察させていただいた。特に病児保育については、本市では2施設で2人ずつ計4人しか受け入れられなかったものが、南部保育園で3人まで受け入れられるようになり、専任の保育士・看護師等もいるので安心して利

用できる。保育園職員との意見交換では、施設に対する要望も出された。

子供たちのゆったりとした様子や生き生きとした姿を見させていただくことができた。



## 12月定例会日程(予定)

日	月	火	水	木	金	土
11/22	23 (勤労感謝の日)	24	25	26	27	28
29	30	12/1 本会議 (開会・総括質問) 予算特別委員会	2	3 本会議 (一般質問)	4 本会議 (一般質問) 議会運営委員会	5
6	7 本会議 (一般質問)	8 総務 常任委員会	9 市民文教 常任委員会	10 厚生 常任委員会	11 産業建設 常任委員会	12
13	14 常任委員会 予備日	15	16 議会運営委員会	17 予算特別委員会	18 本会議 (表決・閉会)	19
20	21	22	23	請願・陳情 提出期限 11月24日(火)午後1時		

※各会議の開会時刻は午前10時です。  
 午後にわたる場合は1時間程度の休憩をはさみ再開します。  
 ※日程は変更される場合がありますので、ご了承ください。

## 議会を傍聴される 皆さんへ

鶴岡市議会では、新型コロナウイルス感染拡大を防止するとともに、傍聴においての方の健康を守るため、次のことをお願いしています。ご理解とご協力をお願いします。

- ・傍聴席の間隔を空けて着席してください。
- ・マスクを着用してください。
- ・入場時に手指のアルコール消毒をしてください。
- ・発熱があるなど体調が優れない方はご遠慮ください。

なお、本会議は本所及び各庁舎市民ロビーのテレビモニターで生中継しています。また、市議会ホームページ・YouTubeでは生中継及び録画中継も視聴できます。

## 議会傍聴アンケート

9月定例会を傍聴された方から寄せられたご意見・ご感想(一部抜粋)を紹介します。

- ・言葉だけでは質問内容が伝わりづらいこともあるので、図や絵、グラフ、表などで表せるようにしてもらいたい。
- ・初めて傍聴したが、想像以上に肉声を強く感じとることができて良かった。ただ、議員の質問に対する答弁に誠意は認めるが、熱意がいまいち感じられなかったのが少々残念だった。



傍聴の様子

議会の会議録を閲覧するには

◆本所及び各庁舎の市民ロビー、鶴岡地域の各コミセン、図書館本館において、会議録が閲覧できます。

◆インターネットで会議録の閲覧・検索ができます。市議会ホームページをご覧ください。

## 編集後記

9月定例会では、本市の主要な幹線道路が冠水するなど記録的な豪雨となった7月28日豪雨の被害について、避難指示・勧告の発令、避難所設置、河川の洪水氾濫による農作物被害への対応などをいただきました。

世界各地でも異常気象による災害が発生しています。アメリカ西部では大規模な山火事が続き、カリフォルニア州では焼失面積が東京都のおよそ6倍に上るなど、史上最悪の規模となっています。

地球規模の気候変動と災害の激甚化が進む中で、自然災害と感染症の流行が重なる事態への備えが急務となっています。自治体と市民が協力し、ともに防災意識を高めていく必要性があることを改めて感じました。

広報広聴委員会委員

山田 守

発行／鶴岡市議会 編集／広報広聴委員会

〒997-8601 山形県鶴岡市馬場町9-25  
 電話 0235-25-2111 FAX 0235-25-2123  
 メールアドレス gikai@city.tsuruoka.lg.jp

